

# 日本児童英語教育学会

(The Japan Association for the Study of Teaching English to Children)

## 第45回(2018年度第1回)中国四国支部 春季研究大会のご案内

日本児童英語教育学会・会長 小泉 仁

同 中国四国支部・支部長 築道 和明

青葉が目に眩しいこの頃、JASTEC会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は日本児童英語教育学会中国四国支部の発展のためにご協力いただきありがとうございます。

さて、本支部におきましては、毎年、春と秋に児童英語に関する研究会を重ねておりますが、本年度も来る6月3日(日曜日)に下記要領により第45回春季研究大会を開催いたします。本研究会では、先進的に教科として外国語教育に取り組みられてきた広島大学附属小学校の西原美幸先生から、「新学習指導要領に沿って展開する小学校外国語教育の在り方 ～移行期間にすべきこと～」と題して、実践例を交えた特別研究発表・講演をしていただきます。また、榎原朱梨さん(広島大学大学院)からは、小学校の授業における教師の言語選択に関する信条と実際に関する研究、中山貴司先生(広島大学附属東雲小学校)から、文部科学省から出された新教材の分析をもとに、小中連携を考える際の手立てに関する研究、渡部靖徳先生(前山口市立井関小学校)からは、台湾・韓国の小学校英語の実際に関する研究をご発表いただけることになっております。多くの研究情報を得られるまたとない機会と思っておりますので奮ってご参加ください。

小学校外国語活動に関わる先生方、また、児童英語教育の現場でご活躍の皆様にとりまして、本大会が有益な情報発信と情報交換の場となることを心より願っております。JASTEC会員はもとより、小学校や児童英語教育の現場でご活躍の皆様、また小学校外国語活動・児童英語に関心をおもちの皆様、どうぞお誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

日時 : 2018年6月3日(日)

午前10時 受付開始 午後4時10分終了予定

会場 : 広島大学東千田キャンパス(208講義室予定)(交通アクセスは次頁参照)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/senda>

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1丁目1



以上

## 【交通アクセス】

### <バスをご利用の方>

JR 広島駅(広島市)から  
アルパーク方面行き  
広島バス(50号(東西)線)  
↓約12分、220円  
日赤前下車 徒歩約2分

### <市内電車をご利用の方>

○JR 広島駅(広島市)から  
紙屋町経由広島港行 広電(1号線)  
↓約30分、160円  
日赤病院前下車 徒歩約3分

○JR 横川駅(広島市)から  
広電本社前行 広電(7号線)  
↓約25分、160円  
日赤病院前下車 徒歩約3分

○JR 西広島駅(広島市)から  
紙屋町経由宇品二丁目/広島港行 広電(3号線)  
↓約30分、160円  
日赤病院前下車 徒歩約3分

### <広島港をご利用の方>

○広島港(広島市、廿日市市)  
1.広島駅行 広電(1号線)  
↓約25分、160円  
日赤病院前下車 徒歩約3分  
2.西広島行 広電(3号線)  
↓約25分、160円  
日赤病院前下車 徒歩約3分

※ 研究大会参加費(資料代として): 一般(大学院生を含む)1,000円 学部学生 500円  
(JASTEC 会員は無料 賛助会員は3名まで無料)

※ 研究大会の参加予約は必要ありません。当日、会場前の受付までお越しください。

## 【問い合わせ先】

JASTEC 中国四国支部事務局 ( <http://www.jastec.info/> )

**739-8524** 東広島市鏡山 **鏡山 1-1-1** 広島大学 兼重 昇研究室内

E-mail: [kanesige@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kanesige@hiroshima-u.ac.jp)

## 第45回(2018年度第1回)中国四国支部 春季研究大会プログラム

10:00～ 受付

### 午前の部

10:20-10:30 開会の挨拶

JASTEC 中国四国支部長 築道和明 (広島大学)

10:40-11:20 研究発表 (30分発表 10分質疑)

「小学校英語教育における教師の言語選択に関する研究：アンケート調査に基づいた教師の信念と実践の関係について」

発表者：榎原朱梨 (広島大学大学院生)

11:30-12:10 研究発表 (30分発表 10分質疑)

「中学校に向けた小学校外国語活動と外国語科の系統性を踏まえた接続のあり方」

発表者：中山貴司 (広島大学附属東雲小学校)

12:10-13:30 昼休み . . . . .

### 午後の部

13:30-14:10 事例研究発表 (30分発表 10分質疑)

「台北、韓国の小学校英語を視察して」

発表者：渡部靖徳 (前山口市立井関小学校)

14:30-16:00 特別研究発表・講演

「新学習指導要領に沿って展開する小学校外国語教育の在り方～移行期間にすべきこと～」

講演者：西原美幸 (広島大学附属小学校)

16:00-16:10 閉会の挨拶

JASTEC 前中国四国支部長 國本和恵 (子供英語・広島女学院大学非常勤)

## 発表概要及びプロフィール

※原文のまま掲載しています。

○「小学校英語教育における教師の言語選択に関する研究：アンケート調査に基づいた教師の信念と実践の関係について」

発表者：榎原朱梨（広島大学大学院生）

### 【発表概要】

本研究は、小学校英語教育における教師の言語選択について、インターネットによるアンケート調査をもとにその信念と実践の関係について、場面ごとの実態を調査したものである。調査対象は全国の38名の小学校教員である。結果として、次のようなことが明らかになった。①ほぼ全ての調査協力者が出来る限り英語を使うべきだという信念を持っている、②場面によっては、日本語を使用すべきだと考えている。③言語選択においては、信念と実践にギャップがあり、これは教師の英語力を含めた資質による。発表においては、具体的な場面を取り上げて結果を紹介する。

### 【発表者プロフィール】

広島大学大学院学習開発学専攻カリキュラム開発専修 M1 生。卒業論文より、小学校英語教育に関する研究に取り組んでいる。

○「中学校に向けた小学校外国語活動と外国語科の系統性を踏まえた接続のあり方」

発表者：中山貴司（広島大学附属東雲小学校）

### 【発表概要】

小学校における外国語活動「Let's Try! 1・2」と外国語科「We Can! 1・2」の指導書に示されている語彙・語句、表現を整理し、既習事項を考慮しながら一連の内容について系統的にまとめました。そこからわかったことや考えられることをもとに、外国語活動・外国語科と中学校との接続に向けた指導のあり方について、実践報告を行いながら提案します。

### 【発表者プロフィール】

これまで10年以上理科を中心に研究を進めてきましたが、英語にも興味があり、勉強していきたいと考えています。

○「台北、韓国の小学校英語を視察して」

発表者：渡部靖徳（前山口市立井関小学校）

【発表概要】

昨年春、台北市と韓国の三つの小学校英語の授業を参観することができた。必修化を経て20年を経た両国地域の実践に学ぶことはないか、が視察の主なテーマだった。日本と同じ所も数多くあったが、1番の違いは、台北、ソウル、釜山等の大都市では、専科教員が指導していたことだった。地方では担任が指導していた。参観記録やインタビューを中心に概要を報告したい。

【発表者プロフィール】

平成8年頃より、小学校英語に取り組んでいます。退職後、現在は中学校で非常勤講師をしています。

（特別研究発表・講演）

○「新学習指導要領に沿って展開する小学校外国語教育の在り方～移行期間にすべきこと～」

講演者：西原美幸（広島大学附属小学校）

【講演内容】

いよいよ新学習指導要領の移行期間が始まりました。2020年からの小学校「外国語」教科化に向けて、2017年度末に文部科学省から新教材（「Let's Try! 1・2」「We Can! 1・2」）やその教師用指導書も配布されています。今一度、原点に立ち返り、新学習指導要領や新教材の理念についてしっかりと解釈するとともに、ワークショップ形式も用いながら毎日の授業の「何を」「どのように」変えていけばよいのかをともに考えましょう。

【講演者プロフィール】

香川県出身。広島大学附属小学校教諭。研究部長職。小学校第一学年から中学校第三学年まで全ての児童・生徒を学級担任した経験から、子どもの発達段階に応じた外国語指導の在り方を実践研究している。